

- 2 策定が進む新たな総合計画
- 3 駅周辺の再整備にご意見を
- 4-5 特集 秋の厚木を満喫
- 6-8 街の話題/コラム/お知らせ

受け継ぐ 心と技

研磨機の先に付けられた砥石といしがさあつと音を立てて回り、直方体に切り出された御影石の上をゆっくりと滑っていく。表面に水を流しながら、目の粗さの異なる11種類の砥石を当て終えると、石は滑らかな光沢を帯びる。「研磨は集中力が必要な作業。欠けたり、磨きむらが出たりしないように」。中山常夫さん（55・七沢）は、この道35年になる石工職人。3代前から続く石材店を継ぎ、墓石の製作や補修などを手掛けている。大切にしているのは、お客さんと何度も顔を合わせて気持ちに寄り添うこと。凝った造りにせず、長く管理しやすい品を届けている。

最近、思い掛けない出来事があった。「50年前にお墓を作った横浜のお客さまから、仕事の依頼があった。昔、父が祖父が手掛けた仕事を認めていただけの思いがして、感謝の気持ちでいっぱいになった」。石工の技と心を受け継ぐ職人はそう言つと、にっこり笑った。

— 2019年度技能功労などの被表彰者 —

市では、技能の向上や後進の育成に貢献した功労者などを表彰しています。（順不同、敬称略）

《技能功労者》中山常夫（石工職）安齊務（理容師）中村芳典（とび職）佐藤剛一（左官職）武田房芳（内装工事士）小野澤徳久、沼田信光（大工職）《優秀技能者》市川貴章（板金工）大石精一郎（塗装工・画工・看板工職）大塚克之、大貫稔（自動車整備士）《優秀青年技能者》佐藤和正（板金工職）河西知幾（大工職）。 ☎産業振興課 ☎225-2585

Q Zoom Up

市民の皆さんとつくるまちの未来

策定が進む新たな総合計画

総合計画は、市が将来進むべき道筋を定める12年間の長期計画です。現在、市では市民の皆さんの意見を取り入れながら、2021年度から始まる新しい計画の策定を進めています。皆さんと共に、確かな厚木の未来の設計図を作っていきます。

市の施策や事業などの多くは、総合計画に基づき実施しています。現在の第9次計画「あつぎ元気プラン」は20年度末で満了を迎えます。これを受けて市では、4月から第10次計画の検討を始めました。6月には、市民や大学教授らによる「市民検討会議」を設置。市民目線でまちづくりの方向性を話し合っています。

将来の厚木を誰もが暮らしやすいまちにするには、皆さんの意見が欠かせません。市では、より多くの声を計画に生かすため、気軽に意見を出せる仕組みを取り入れて策定を進めています。

市民の声を反映

計画の策定には、これまでも公募による市民参加の場を設けてきました。今回はさらに機会を増やし、より多くの声を聴くため、参加の呼び掛けを工夫しました。今回、新たに取り入れたワールド

カフェでは、公募に加え、無作為に選ばれた市民の皆さんに案内状を送付。幅広い世代や立場の方に参加していただきました。ワールドカフェとは、カフェのようなリラックスした雰囲気の中で自由に意見を交わす話し合いの方法です。16〜86歳の市民34人が「32年の厚木はどんなまちになってほしいか」などをテーマに、模造紙に自由なアイデアを書きながら、思い描くまちの姿を話しました。参加者の吉川優哉さん(16・酒井)は「次の計画は自分たちの未来に重要だと思いがち。出た意見がまちづくりに生かされたらうれしい」と期待を込めます。

市民検討会議では、「子育て・教育」「福祉・保健」「産業・まちづくり」「環境・河川」の四つの部会に分かれ、将来のまちづくりの方向性を検討しています。部会ではそれぞれの分野ごとに「未来の厚木はどんなまちにしたいか」や「どうすれば理想的なまちを実現できるか」を話しています。結果は提言書として12月に市長に提出しますが、より良い計画を策定するためにはみんなで話し合うことが大切です。今後も市民説明会やパブリックコメントなど、市民の皆さんが幅広く参加する機会が設けられています。皆さんもぜひ参加して、一緒に厚木の未来をつくっていきましょう。



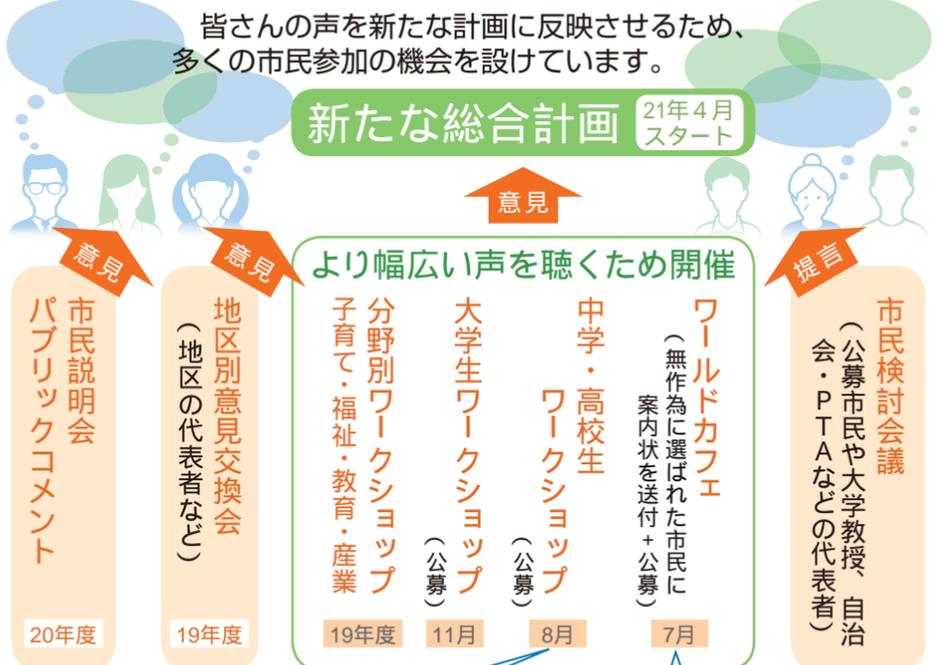
和やかな雰囲気で行われたワールドカフェ

一人一人が思い描く理想のまちを計画に

厚木市第10次総合計画
市民検討会議会長
山口 泉さん(68・温水)

市民検討会議では、「子育て・教育」「福祉・保健」「産業・まちづくり」「環境・河川」の四つの部会に分かれ、将来のまちづくりの方向性を検討しています。部会ではそれぞれの分野ごとに「未来の厚木はどんなまちにしたいか」や「どうすれば理想的なまちを実現できるか」を話しています。結果は提言書として12月に市長に提出しますが、より良い計画を策定するためにはみんなで話し合うことが大切です。今後も市民説明会やパブリックコメントなど、市民の皆さんが幅広く参加する機会が設けられています。皆さんもぜひ参加して、一緒に厚木の未来をつくっていきましょう。

幅広い層から意見を聴き取り 計画への市民参加の仕組み



- 皆さんの声
- 幅広い世代が楽しめる施設を造る
 - 街歩きが楽しくなるまちづくり
 - 小・中学生の交流の場をつくる
 - SNSで厚木を宣伝する
 - 市内各地へのアクセスを良くする
 - 子育て世帯や障がい者、高齢者が住みやすいまちにしたい
 - 外国籍の方と共生できる国際色豊かなまちになってほしい
 - 自然を大切にしたいまちづくり

まちの未来のため

市では、この他にも市民の皆さんが参加できる機会を設けています。今後は、大学生によるワークショップ(下欄参照)や、市民説明会、パブリックコメントなどを実施していきます。少子高齢化や人口減少、自然災害などに対応するには、将来を見据えた計画的なまちづくりが必要です。市では、市民の皆さんと共に計画作りを進めていきます。

問企画政策課 ☎225-2455

参加者募集

大学生ワークショップ

皆さんが思い描く「未来の厚木」を自由な発想で語り合いませんか。

日時 11月22日 18時～20時30分

場所 市役所本庁舎 対象 市内在住在学の大学生30人

内容 「2032年の理想的な厚木」がテーマの意見交換・発表
☎電話またはファクス、Eメールにワークショップ名、〒住所、氏名(ふりがな)、電話番号、学校名、学年を書き、11月14日(必着)までに企画政策課 225-2455・蕨225-3732・✉1100@city.atsugi.kanagawa.jpへ(市HPからも申し込み可)。抽選。



8月に開催した中学・高校生のワークショップの様子

複合施設構成のイメージ

市役所執務スペース、国・中～高層部
県の機関、市議会など



※神奈川工科大学厚木市子ども科学館の機能を高めた施設

地下駐車場

再整備のここが知りたい!

- Q 車の渋滞対策は?
- A 道路の幅を広げるのに加え、新しい道路を整備して、より良い交通環境を整えます。
- Q 新施設の周りは、何を整備するの?
- A 地下道やバスセンターを再整備し、駅からのアクセス・バス待ち空間の快適さ向上につなげます。加えて、中町立体駐車場を広くして収容台数を増やします。
- Q お金はどのくらい掛かる?
- A 試算では、建設費は224億円です。複合化で、建設費は16億円、維持管理費は年間6200万円削減できる見込みです。

意見を
出すには?
パブリック
コメント
募集中

《閲覧期限》11月29日《閲覧場所》市街地整備課、青少年課、消防総務課、市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、中央図書館、あつぎ市民交流プラザ、保健福祉センター、市HP《応募方法》閲覧場所にある用紙で確認。

Q Zoom Up

人が集まり交流する場所に
駅周辺の再整備にご意見を

本厚木駅東口から程近い厚木バスセンター東側のエリアに、幅広い世代が集い交流できる場所をつくるため、市では再整備に向けた計画づくりを進めています。この計画に対するご意見をお聞かせください。

約2400人から意見

本厚木駅東口周辺は、駅やバスセンターなどの交通機能をはじめ、図書館や保健福祉センターといった公共施設が集まる地区です。市民の皆さんが行き交う拠点でもあるこの地区は、これまで、一部を駐輪場として暫定利用しながら、より良い活用方法の検討を重ねてきました。今回、市庁舎などの公共施設の老朽化・狭あい化に伴い、複数の機能を備えた新たな施設を建て、周辺を整備する計画を立案。たくさんの方が集い、充実した時間を過ごせる施設の整備を目指しています。

計画を作るに当たり、より多くの声を取り入れるため、アンケートやワークショップを20回以上実施しました。これまでに約2400人から意見が寄せられています。結果を踏まえ市は、市役所、図書館、(仮称)未来館を併設する計画を提案(左図参照)。訪れた人が交流できるカフェや、イベントなどができるホールを設置する案は、多くの意見が集まったことで計画に取り入れられました。市複合施設等整備

複合化で新たな価値

検討委員会の公募委員・松岡る奈さん(44・森の里)は「施設を使うのは私たち市民。子育て世帯や高齢者など、さまざまな立場から意見を伝えることが、市民にとって居心地の良い空間づくりにつながる」と話します。

利用者目線の意見を

施設の複合化は、サービスの在り方や利用方法などの面で利便性の向上が見込まれます。異なる施設の利用者同士が交流すれば、新しいアイデアやコミュニティが生まれることも期待できます。加えて、分散している施設がまとまることで、建設費や維持費を削減。個別に整備するよりも、経費を大幅に抑えられる見込みです(左欄参照)。

公共施設は建てるだけでなく、活用方法を見据えた検討が欠かせません。現在、計画への意見を募っています(左欄参照)。利用する皆さんの視点で、ぜひ意見を寄せてください。
問 市街地整備課 ☎25-2470

酒井地区の整備が始まる

新たな産業拠点の創出に向け、酒井地区で土地区画整理事業が始まりました。市では、事業を実施する組合を支援し、活力あるまちづくりを進めていきます。
問まちづくり推進課 225-2860

整備イメージ



地域の特性を生かしたまちづくり
既存の産業施設や住宅などをできるだけ残し、現在の生活環境と調和した産業拠点に。

交通利便性の高い拠点に
高速道路のインターチェンジや小田急線の駅などに近く交通利便性が高いため、企業誘致などを推進。



土地区画整理組合が設立
充実した産業拠点にするため、2010年から土地の権利者を中心に検討を開始。8割を超える同意を得て、9月13日に、市長が土地区画整理組合の設立を認可。

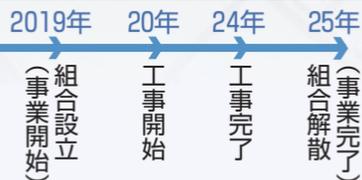
地域の活性化のために
酒井土地区画整理組合理事長
高橋 功雄さん(67)

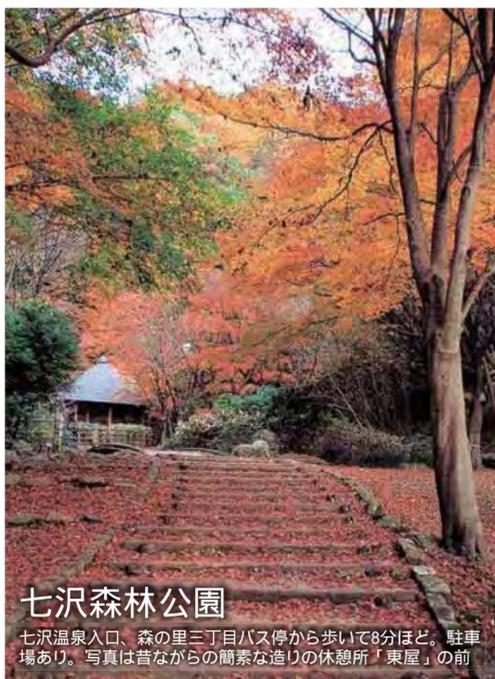


酒井地区の交通利便性の高さを生かした産業拠点の整備は、市全体の経済活性化につながる事業です。地元の皆さんの生活に配慮しながら、取り組んでいきます。



11月から整備を開始
区域の西側には、地区の核となる約12㌥の大街区を計画。今月から工事の準備を始め、2025年の事業完了を目指す。





森林セラピー®
七沢森林公園では、ハンモックを使った森林浴が体験できる



七沢森林公園専門員
篠崎 晃さん(62)

近場で自然体験を

気軽に紅葉を楽しめるのが、七沢森林公園です。入口近くのモミジをはじめ、「森のかけはし」や「ながめの丘」から望む大山、鐘ヶ嶽の紅葉は壮観です。秋から冬にかけては、バードウォッチングがオススメ。ノルディックウォーキングや自然観察会なども開催しているので、ぜひ参加してください。

七沢 エリア

大山に続く七沢では、道々で丹沢まで連なる紅葉が楽しめます。里山を丸ごと整備した七沢森林公園では、園内が落葉樹の雑木林に覆われ、モミジやイチヨウが鮮やかに染まります。起伏に富んだ地形には散策路を整備。気軽に山登り気分を味わえ、健康づくりのウォーキングにも最適です。東丹沢七沢温泉郷で気軽に汗を流せます。つつかの温泉を巡って、お気に入りの景色を見つけてみてはいかがでしょうか。

大山の東側。県内で初めて森林セラピー®基地に認定された地区。豊かな自然を味わいながら、森林浴を楽しめる。



ノルディックウォーキング

ポールを使って歩くことで運動効果が高まる

七沢 鐘ヶ嶽



飯山 飯山白山森林公園



ハイキングを楽しむ

登山初心者からベテランまで楽しめる8コースを用意。大パノラマや森林セラピー® 神社や仏閣といった歴史風景などが見どころ。飯山・七沢から大山の山頂まで歩くこともできる。



木々が赤や黄色に色づく季節。里山の豊かな自然に囲まれた飯山・七沢エリアでは、鮮やかな色彩の情景が広がります。今回は、地元の旅館や公園などで日々来訪者をもてなす人々に、身近な紅葉の楽しみ方を聞きました。

飯山白山森林公園

飯山観音駐車場から歩いて15分ほど

あつぎ七沢森のまつり

《日時》11月3日 9時30分～15時
《場所》七沢森林公園
《内容》屋台村、コンサート、千人猪鍋、丸太切り、足湯など
問観光振興課 225-2820



森林セラピー®で元気に

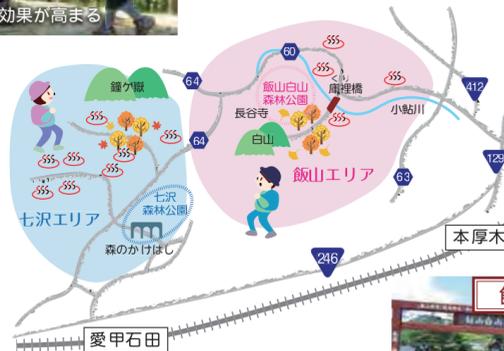
科学的根拠に裏付けられた森林浴効果。森の環境を利用した歩行や運動で、心身の健康維持や増進、病気の予防につながる。

森林浴で健康増進

飯山と七沢の森は、癒やし効果が認められた全国でも有数の「森林セラピー® 基地」に認定されているところです。紅葉狩りをきっかけに、身近な森へ足を運び、草木の香りや風の音、虫の鳴き声などを感じて、心身をリフレッシュしてみませんか。



森林セラピー®基地
案内人
土屋 公さん(78)



身近な紅葉を楽しもう

市の木がモミジであることにも由来するように、市内には、秋に紅葉する木々が各地に根付いています。森の里のイチョウ並木や子どもを遊ばせながら大山が望める岩田山公園など、美しい景観が身近な場所にあります。特に飯山と七沢は、厚木が誇る自然と歴史が詰まった場所。豊かな自然を、子どもから高齢の方まで散歩気分を楽しめます。厚木の紅葉は、例年11月下旬から色付き始め、12月上旬に見頃を迎えます。家族や友人と、身近な秋を探しに出掛けてみてください。



あつぎ観光ボランティア
ガイド協会
根岸 邦夫さん



大釜弁財天

趣ある歴史風景

神社仏閣をはじめ順礼の道、石仏など地域の歴史を感じられる場所が多数。ミステリアスなパワースポット巡りも一興。



亀石



東丹沢七沢温泉郷

山裾の斜面に閑静なたたずまいの旅館が立ち並び



七沢エリア

厚木バスセンターから広沢寺温泉または七沢行のバスで30分



飯山エリア

本厚木駅北口から上飯山・宮ヶ瀬行で約20分

温泉でゆったり

市内の温泉は強アルカリ性で無色透明のトロとした肌触りが特徴。65歳以上の方はシルバーチケットの利用がオススメ。



強アルカリ性で肌がツルツルになるため、美人の湯ともいわれる



飯山 エリア

恵まれた景勝地の一つ、飯山白山森林公園では、11月中旬ごろからモミジが美しく色付きます。幼稚園児が遠足で訪れるような身近な場所には、市内有数の絶景、白山山頂では大山や関東平野、東京スカイツリーなどが一望できます。良縁を結ぶパワースポットとしても知られる飯山観音長谷寺での参拝も忘れずに。体を動かした後は、飯山温泉郷でほっと一息、それぞれの個性豊かな温泉が、疲れした心と体を癒やします。

東丹沢山麓の東端。小鮎川の周辺に宿が点在し、古くから湯治場として親しまれている。



七沢城址



浅間神社



七沢荘
中村 浩人さん(26)

多世代が楽しめる場所に

「山ガール」や「歴女」といった言葉が流行しているように、ハイキングや神社仏閣巡り、御朱印集めなどが若い世代でも身近になっています。木々が色づく七沢は、写真映えスポットとしてもうってつけ。年齢や性別に関係なく、多くの方に訪れてもらいたいです。



地元酒造の地酒



猪鍋



飯山元湯旅館若おかみ
黄金井 のぞみさん(47)

温泉で身も心もさっぱり

「旅館＝泊まる場所」というイメージが強いかもしれませんが、市内の旅館の多くは日帰り温泉やランチだけでも利用できます。今は、厚木名物の猪鍋がおいしい季節。散策後に汗を流すのもよし、料理を楽しむもよし。気軽に立ち寄ってもらえたらうれしいです。



飯山観音長谷寺

725年に行基が創建。18世紀中期に建築された観音堂は市指定有形文化財の一つ

厚木の紅葉をPR 小田急線沿線で紅葉ガイドを配布

モミジの絶景ポイントなど、飯山・七沢の魅力を満載した観光ガイドブック「秋を彩るあつぎへようこそ」を市観光協会や小田急線の各駅で配布しています。マップ付きで散策に便利です。



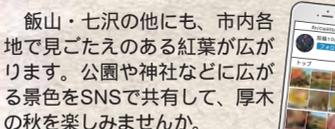
あつぎよくばり旅 絶品グルメから温泉まで、厚木巡りの決定版。公共施設などで配布中



厚木大山ハイカーズガイド 市指定のハイキングコースを掲載

最新の観光情報は「あつぎ観光ナビ」で 問市観光協会 240-1220

見頃を逃さず最新情報をキャッチ 紅葉情報を「#niceatsugi」で共有



紅葉情報にSNSで「#niceatsugi」を付けて投稿 「#niceatsugi」に情報が集積。市内外の誰もが閲覧可能

市公式インスタグラム「atsugi_city」でも紅葉情報を発信

あつぎ飯山秋の花まつり

《日時》11月3日 10～16時 (雨天順延)
《場所》あつぎ飯山花の里
《内容》5千本のザル菊鑑賞・販売、白龍の舞や飯山白龍太鼓の演奏など
問観光振興課 225-2820



御朱印

参拝した証し。人間味のある手書き文字が、参拝当時の気持ちや本堂の情景をよみがえらせる

心落ち着く秋のひとときを

長谷寺は、関東の歴史ある札所「坂東三十三観音霊場」の一つで、巡礼スポットとして多くの方が訪れます。飯山白山森林公園の鮮やかなモミジに囲まれた境内は、日常の雑事から離れた落ち着いた空気が感じられます。紅葉をめぐるゆるゆると参拝し、心を整えるのも一興ではないでしょうか。



飯山観音長谷寺住職
米山 隆弘さん(46)

一人一人がCOOL CHOICEを
温暖化防止啓発用ラッピングバスが運行開始



ラッピングバスは12月まで市内を運行

と期待を込めました。小林市長は「環境問題には一人一人の心掛けが大切。まちを走るラッピングバスを通して、多くの人に知ってもらいたい」と期待を込めました。

神奈川中央交通東株式会社と連携し、温暖化対策として進めている運動「COOL CHOICE」を紹介するラッピングバスを制作しました。運動は、温暖化を防ぐため一人一人が賢い選択をす

るよう呼び掛ける取り組み。市では、バスの導入をはじめ、ポスターの掲示や啓発動画を公開するなどしてPRしています。

車を運転する時はゆっ

くり発進する、地元食材

を食べて輸送エネルギー

を抑えるなど、日常生活

の何気ない選択が、省エ

ネルギーにつながります。

小林市長は「環境問題に

は一人一人の心掛けが大

切。まちを走るラッピング

バスを通して、多くの

人に知ってもらいたい」と

と期待を込めました。

大学生が描く「厚木のまち」
まちづくりを考えるワークショップを開催

東京工芸大学の学生と商店会関係者などの市民の皆さんが、厚木のまちづくりを考えるワークショップを開催しました。



市街地の模型を参考に意見交換

初めに学生たちが中心市街地改造計画の研究発表を公表。点在する駐車場をアプリで一括管理し、閉鎖時はオープンスペースとして活用するなどの自由な提案に、参加者は真剣に耳を傾けていました。発表後は大学生と参加者が意見を交換し、「利用者層の想定は」「どこから着想を得たのか」など、アイデアを掘り下げました。



心もまちもクリーンに
学生たちが美化・啓発活動を実施

非行防止の呼び掛けや美化清掃に取り組み「心と街のクリーン作戦」に、市内の中学・高校・大学生約190人が参加しました。31回目を迎える今年



通行人に声を掛け啓発物品を手渡した

は、実行委員の学生たちが6月から準備を開始。会議を重ね、啓発ポスターやチラシ作り、学校への参加の働き掛けなどに取り組みしました。開会式で実行委員長の水津颯さん（厚木東高3年）は「令和の時代にふさわしく、新しい取り組みにしたい」とあいさつ。参加者に協力を呼び掛けました。学生たちは本厚木駅北口広場を中心に10組に分かれ、喫煙・飲酒・薬物乱用・非行防止と書かれたティッシュやチラシを配布。清掃活動では、駅や公園でタバコの吸い殻やペットボトル、空き缶などのごみを拾い集めました。

台風15号被害の復旧に協力
富津市へ市職員51人を災害派遣

9月に房総半島を襲った台風15号で甚大な被害を受けた千葉県富津市に、厚木市は職員51人と災害対応車両を派遣しました。派遣は、富津市からの要請を受け、6日間にわたり実施した。一日でも早い復旧に向けて、災害廃棄物の収集や分別、ダンプカーを使った畳やがれきなどの運搬に当たりました。研修の一環で参加した市民協働推進課の澤田怜奈さん（22）は「被災から半月経っても川に木が倒れている様子やごみの多さに、被害の大きさを思い知った」と話していました。



がれきの山を分別する職員たち

アツギ X NEW ZEALAND
ホストタウン通信

市内でNZを感じる体験を

視覚や味覚でNZを感じられる催しを実施します。ホストタウンに思いをはせ、友好の気持ちを育みましょう。

《実施期間》 11月1～30日

《内容》 スマートフォンアプリによるスタンプラリー、インターネットを使ったオンライン交流授業、NZ企業による食育講座、NZの星空がテーマのプラネタリウム特別上映、NZの著書の展示など



3月のオンライン交流授業の様子

...アプリの使い方...
対象イベントへの参加や店舗での買い物でスタンプを獲得三つ集めると中間賞七つで景品がもらえる

ワインなどの物産をかうとスタンプがたまる

厚木 NZ スタンプラリー 検索

2020年東京オリンピック・パラリンピック（東京五輪）に向けて、ホストタウンとなったニュージーランド（NZ）との交流事業を紹介します。

熱戦が続くラグビーワールドカップ。日本代表はもちろん、厚木市がホストタウンに登録しているNZ代表の活躍にも胸を熱くしています。そんな中、市では2020東京パラリンピックへの出場を決めた、車いすラグビーNZ代表チームの事前キャンプの受け入れが決まりました。NZ車いすラグビー協会の皆さんは1年前に市を訪れ、公共施設や宿泊施設を視察されました。充実した施設があることや、おもてなしの心が伝わり、キャンプ地として選んでいただきました。パラリンピック競技のキャンプ地として協定を結ぶのは、今回が初めて。市民の皆さまにとって、パラスポーツや国際交流に興味や希望を持つきっかけになることを期待するとともに、これまで親交を深めてきたNZの皆さんを全力でバックアップしたいと思っています。

市では、市内小・中学校でのパラスポーツ体験会や来年6月の聖火リレーなど、大会に向け、スポーツや国際交流への機運がますます高まっています。この機を逃さず、市民の皆さんと気持ちを一つにして盛り上げられる催しを企画してまいります。

全力でサポートすることを誓った

小林市長

タウンガイド

11月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

☎=申し込み 問=問い合わせ =電話番号
 ㊚=ファクス番号 ㊛=Eメール HP=ホームページ
 📍=マイタウンクラブ (📍印の番号で、ウェブ上から詳しい情報を確認できます。「📍」と記されたものは、申し込み可) 市役所への郵便物は「〒243-8511 課」で届きます。

あつぎのしゃしん。



「いわし雲と彼岸花」

#9月25日撮影
 #広町公園
 #秋空に向かって
 #niceatsugi
 広報課公式Instagramで公開中



11月9～15日 秋の火災予防運動

「ひとつずついいね!で確認 火の用心」

をスローガンに、消防本部や消防署、消防団が、立入検査や消防車での巡回を実施します。



9日は吹鳴試験のため、7時にサイレンを鳴らします。問予防課☎223-9371

民交流プラザ。料理研究者による「時短ごちそうレシピ」がテーマの研修。市内在住で食生活改善推進員養成講座修了証を持つ方24人。600円。託児あり(1歳～小学3年生10人。抽選)。☎11月15日までに健康づくり課☎225-2201へ。抽選。

安心・安全なまちづくり 研修会

11月13日、13時30分～15時30分。文化会館。「大丈夫ですか?家の鍵・こころの鍵」がテーマの講演。定員350人。無料。☎当日直接会場へ。先着順。問セーフコミュニティ暮らし安全課☎225-2148。

あそぼう!まなぼう! まめの木タイム

11月19日、11～12時。ひまわり児童館。発達に関するミニ講座、手遊び、親子触れ合い遊びなど。乳幼児と保護者20組程度。☎当日直接会場へ。問療育相談センター☎225-2252。

年末調整などに関する説明会

11月15日、13時30分～16時。文化会館。年末調整や法定調書、給与支払報告書の作り方などの説明。事業所や事業主の方。無料。☎当日直接会場へ。問年末調整・法定調書=厚木税務署☎221-3261。給与支払報告書=市民税課☎225-2011。

教育委員会委員の任命

任期満了に伴い、10月16日付けで、杉山繁雄氏(65)が教育委員会委員に任命されました。問教育総務課☎225-2600。



新たな農業委員と農地利用最適化推進委員の就任

任期満了に伴い、各委員を任命・委嘱しました。《任期》10月17日～2022年10月16日《会長》堀池春夫《会長職務代理者》早川曉《農業委員》市川和典、井上謙治、梅澤清子、小澤隆、新藤悦子、難波博文、野口政夫、松野勝、松前進、三橋澄夫、山川宏司《推進委員》池谷栄一、石井敏美、市川秀夫、加藤和穂、神崎

浩一、楠好文、杉寄一彦、鈴木好弘、中丸豊、永島優男、三橋光雄、三平定邦、森住勉、和田定通(50音順・敬称略)。問農業委員会事務局☎225-2480。

放課後児童クラブ入所児童の募集

市内23小学校区にある放課後児童クラブで、2020年度の入所児童を募集します。

《対象》各学区内の小学生で①保護者全員が就労(15時以降まで勤務)や疾病などで放課後に保育できない②保護者などが19時までに迎えが可能な全ての満たす児童《時間》平日(休校日を除く)=放課後～19時、土曜・長期休業日など=7時30分～19時(日曜、祝日、年末年始などは休所)《費用》育成料(月額)=4000円(18時まで)、4800円(19時まで)。クラブ費(月額)=3500円(おやつ代、教材費など)。☎こども育成課や児童クラブ、市HPにある申請書を、11月25日～12月6日に直接、こども育成課☎225-2582へ。



住民票、マイナンバーカードなどへの旧姓(旧氏)併記

11月5日から住民票などに旧姓(旧氏)が併記できます。住民票に併記すると、マイナンバーカードや印鑑証明書などにも自動的に併記されます。☎①本人確認書類②登録を希望する旧姓から現在の姓に至る全ての戸籍謄本など③マイナンバーカードまたは通知カードを持ち、直接市民課☎225-2110へ。

生産緑地地区変更に伴う都市計画変更案の縦覧と意見書の受け付け

《閲覧期間》11月5～19日(土・日曜、祝日を除く)《縦覧場所》都市計画課《意見書提出》直接または郵送で〒243-8511都市計画課☎225-2401へ。

もみじまつり! 2019

11月16日(雨天時は17日)、10～15時。あつぎつつじの丘公園。働く車の展示・乗車体験、堆肥の無料配布、ビンゴ大会、舞台発表など。問環境みどり公社☎225-2778。



FLY TO NZ PROJECT in Dunedin 2019

3月7～21日(13泊15日)。ダニエデン市への留学プログラム。市内在住の高校生10人。30万円(旅費、学費)。選考あり。☎企画政策課や市HPにある申込書を、11月22日(消印有効)までに直接または郵送で〒243-8511企画政策課☎225-2451へ。11月20日に事前説明会あり。

からだいきいき運動教室

11月6・13・20・27日、10～12時。東町スポーツセンター。市内在住の65

歳以上。要介護認定を受けている方は要相談。無料。☎当日直接会場へ。問介護福祉課☎225-2388。📍192014

日本赤十字社救急員養成講習会

12月1・7・8日(全3回)、9時15分～17時15分。保健福祉センター。心肺蘇生法や自動体外式除細動器(AED)の取り扱い、急病やけがの対応と予防、応急手当などを学ぶ。全日程参加できる15歳以上30人(市内在住の勤在学の方を優先)。3200円。☎往復ハガキに講習会名、〒住所、氏名(ふりがな)、性別、生年月日、電話番号、市外の方は勤務先または学校名を書き、11月21日(必着)までに〒243-8511福祉総務課☎225-2200へ。抽選。📍192504



食生活改善推進員育成研修会

11月28日、10～13時。あつぎ市

議会報告会

市民と議会の意見交換会

市議会議員と意見交換してみませんか。気軽に参加してください。



《日時》11月16日 16時～17時30分 無料
 《場所》あつぎ市民交流プラザ
 《内容》「家庭ごみの戸別収集と有料化について」「市庁舎を含む複合施設の建設について」をテーマに意見交換
 ☎当日直接会場へ。

問議会総務課☎225-2701

ホット

インターネットモニターからの意見を紹介

いいメール

Hot E-Mail

インターネットモニター募集
 厚木市インターネットモニター 検索

問広報課 225-2043

10月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆横のつながりを持って市の良さを発信することはとても良い/20代女性 ◆運転免許の返納が叫ばれる中、コミュニティ交通の重要性を感じる/50代女性 ◆SNSで広く大勢の人に市の魅力を知ってもらい活気あるまちづくりが実現できたら/60代男性 ◆SNSは怖いものだと思っていたが今回の記事を見て認識が変わった/40代男性 ◆既にインフルエンザの流行の兆しがあるようで、今年は早めに接種したい/70代女性

編集後記

特集の取材で飯山・七沢エリアを巡りました。厚木は「都会と田舎が融合したまち」と評されることがよくありますが、東丹沢の雄大な自然に触れていると実感が湧いてきます。温泉や旅館、公園などが充実し、秋には絶景の紅葉を望める場所が身近にあることは、まちの誇りだと感じました。今年の秋は、近くにあつて当たり前になっている景色にも改めて注目して、紅葉を楽しみたいです/佐久間

にぎわい爆発! あつぎ国際

世界で活躍する総勢41組の心躍るパフォーマンスが、間近で見られる2日間です。



同時開催

- ① まち元気物産フェア・あつぎ技能祭・厚木商工会議所女性会猿まわし&工作教室
- ② あつぎ消防団ふれあい広場(10日のみ)
- ③ スーパーキッズランド
- ④ あつぎグルメフェア
- ⑤ 南口ホコ天まつり(9日のみ)
- ⑥ CHiKaフェス

イベントのお供に公式ガイドブック販売中

【販売場所】市内書店、コンビニエンスストア、厚木市まるとショップ「あつまる」など



主役は全てのお客さん

企画プロデューサー 橋本 隆雄さん(76)

大道芸の魅力は、芸人とお客さんが交流を楽しみながら一緒に一つのステージを作り上げていくこと。皆さんが参加することで「あつぎ国際大道芸」は完成します。テレビやSNSでは伝わらない、生でこそ味わえる興奮を、ぜひその身で体験してほしいです。

大道芸

11月9・10日 11~18時

問商業にぎわい課 225-2834

詳しくは [あつぎ国際大道芸](#) [検索](#)

自然歳時記

クヌギカメムシ

クヌギカメムシ科

体長12~14mmほどの大きさ。クヌギやコナラ林などに生息し、樹木のへこみに産卵する。ゼリー状の卵塊で越冬するが、南方系のナミガタウメノキゴケの中はもっと暖かだろう/七沢で見つけた。写真・文/吉田文雄



クヌギの木一面に、薄紙を張り付けたようなナミガタウメノキゴケがびっしりと生えていた。葉状体の縁が波打つことが名の由来で、ウメノキゴケにも似ている。その隙間に黄緑色のクヌギカメムシがいた。よく見ると交尾している2匹があちらこちらへ動き回り産卵場所を探している様子だった。

親は、子どもたちが安心して厳しい冬を過ごせるよう、暖かなナミガタウメノキゴケの下に栄養豊富なゼリー状の卵塊を産み付ける。生まれた幼虫たちはこのゼリーを食べて冬を越し、春になると芽吹いた植物の汁を吸って生活する。小さな昆虫も、よく見れば人間の知らないような工夫をして生きている。

厚木市の人口
(10月1日現在)

世帯数 10万377世帯(前月比63世帯増)

人口 22万4677人(前月比2人増) 男11万6247人・女10万8430人